

## エクス=マルセイユ第3大学学長一行が来学

9月27日(金) エクス=マルセイユ第3大学(フランス共和国)のブルドン学長一行4名が本学を訪問されました。

今回の訪問は、昨年9月に山田前学長と高橋国際交流センター長がエクス=マルセイユ第3大学を訪問していることから、その答礼の意味合いもありますが、同大学と本学とは、1999(平成11)年4月に交流協定及び学生交換協定を締結し、毎年、交換留学生の派遣及び受け入れを行っています。

ブルドン学長一行は、秋山学長を表敬訪問し、和田副学長と高橋国際交流センター長が同席するなか、両大学の今後の交流促進について意見交換が行われました。ブルドン学長は特に、本学の夜間主コースに強い関心を持たれ、修業年限やカリキュラム等について熱心に質問されていました。また、エクス=マルセイユ第3大学のビジネス・スクールについて詳細な説明があり、本学が将来設置を目指しているMBAとの大学院レベルでの交流の可能性について意見交換を行いました。

その後、ブルドン学長一行は、エクス=マルセイユ第3大学から本学に留学している学生等と懇談、附属図書館で「手塚文庫」、「シェル文庫」及び「フランス革命資料コレクション」等を熱心に視察しました。



学長室を訪れたエクス=マルセイユ第3大学のブルドン学長一行

### 商大・クラブ活動紹介

## 硬式庭球部

.....  
**念願だった  
 地区予選での『優勝』!  
 しかし、全国の壁は  
 厚かった。**

例年、我が硬式テニス部は6月の北海道予選での優勝目標に一年間練習に励みながらも、15年間も苦汁を味わってきました。1部リーグは野幌総合運動公園にて、4校の総当り戦です。一週間のうちの火、木、土の三日間で行なうという過密スケジュールです。3年前に2部リーグで1位になり1部昇格を果たしました。一昨年は危ないながらも4位に踏みとどまり、残留することができました。昨年度は1勝差の惜敗などもあり、3位でした。やはり、他校のレギュラーは技術の高い人ばかりで、1部リーグで勝つのは難しいことでした。

そして、今年度の北海道予選では苦戦しながらもなんとか優勝し、全国大会への出場を果たしました。一つ一つの試合が技術、体力、そしてそれらを支える精神力のぶつかりあいでした。5分5分の試合もありましたが、勝敗を分けたのはチームの勢いそのものでした。競った試合をみんなでモノにして得た『優勝』、その喜びは自分達の歩んできたテニス人生の中で最高のものでした。厳しい練

習メニュー、休む暇がない程のギリギリの日程、そして(先輩、後輩などの)人間関係。何を思い出しても、楽しいことばかりではありませんでしたが、それらを共に乗り越えてきたという団結力が勝因であったと部員の一人一人がそう感じています。

しかし、その団結力を持ってして

も全国の壁は越えられませんでした。試合は岐阜県のメモリアルセンターというところで行なわれました。まず、会場の雰囲気は北海道とは大きく違い、関東代表チームや関西代表チームなどの優勝候補からは余裕さえ感じました。初戦は第3シードの関東地方代表の法政大学。相手はレギュラー全員が個人戦で全国大会に出場しているという強豪。それに対して、こちらは個人戦では誰も全国大会には行ったことないチーム。それでも、名前負けをせずに全力を出しきった結果、0勝9敗。『すごい...』口には出さなかったが、誰もが心の中でそう呟いていました。ボールのスピード、展開の速さ、戦略などの様々な点においてレベルがワンランク違っていました。今は全国大会でレベルの違いを体で味わってきたことを糧に再び練習に励んでいます。来年、もう一度北海道の頂点に立ち、全国の強豪にもう一度挑戦するために!!

主将 鈴木 誠一

